令和2年度　施策評価シート

まちづくりの目標	6	丹波力を活かした創意ある元気なまち
施策目標	3	【観光】おもてなしで来訪者を迎え、丹波市の魅力を伝えよう
施策の展開	① ② ③	観光資源の魅力を高める ストレスを感じることなく、観光を楽しめる環境を整備する 丹波市の観光を基幹産業化する

施策担当課	観光課
関係課	観光課

1　施策の現状・推移

5年後のまちの姿	・魅力ある観光地や本市の特産品を使った食事や土産物が楽しめます。 ・観光に係る環境整備が進み、観光客の満足度は高まり、リピーターが増加しています。

2　成果指標・コストの推移

		単位	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
成果指標	年間観光入込客数	万人	目標	230	240	248	255	263	270	
			実績	222.3	157.6					
	来訪者の満足度	%	目標	－	76.0	77.0	78.0	79.0	80.0	
			実績	76.8	82.2					
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
コスト	人件費	千円	実績	61,734	78,940	78,940	78,940	78,940	78,940	
	事業費	千円	実績	210,494	260,435	383,218	255,475	180,475	180,475	
	計	千円	実績	272,228	339,375	462,158	334,415	259,415	259,415	
	うち一般財源	千円	実績	244,421	224,445	260,839	253,016	250,316	250,316	

※評価年度は実績、計画年度は予算

3　環境変化

国・県の方針、関連法令の動向	・観光庁は、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底し、国内旅行の需要喚起とインバウンド回復に備えた取組を推進している。 ・兵庫県は、「ひょうごツーリズム戦略」（令和2年2月策定）に基づく地域の魅力を活かした新たな観光モデルの創出や、万博を見据えたインバウンドの強化とともに、観光産業の再生・活性化に向けた支援を推進している。
市民ニーズの動向	新型コロナウイルス感染症の影響により、感染防止対策など安全・安心への意識の高まりと、「マイクロツーリズム」のような近場での観光、キャンプ、グランピング等のアウトドアが注目を集める等、市民ニーズの変化が見られる。

4　評価

目標の達成状況は順調か。達成していない原因は何か。	・新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置の発出による施設の休業や時短営業、イベント中止等の影響で、観光入込客数の目標達成が困難になっている。 ・観光資源の魅力発信、環境整備等により、来訪者の満足度は目標を達成している。
環境変化を踏まえた施策展開となっているか。	・新型コロナウイルス感染症の影響により減少した観光需要の喚起や、観光事業者への支援のための事業を立案し、実施に向けた調整を進めている。 ・観光客の動向調査を継続し、広く多くの意見を今後の事業展開に繋げる。 ・市民のおもてなしの心の醸成とともに、来訪者の市内周遊を促進、滞在時間を延ばし地域が儲かる仕組づくりの構築に向け観光協会と協議を行っている。
事業の構成や役割分担で見直しの余地がないか。	－

5　今後の改革方向

施策の今後の方向性、構成する事務事業の見直し案	・道の駅「丹波おばあちゃんの里」再整備と、整備後の道の駅を起点とした市内周遊と市内消費の拡大による地域活性化を図る。 ・観光推進組織の構築により、新たな事業展開を加え、誘客促進、市内周遊と地域が儲かる仕組等を形成する。 ・公園整備方針に基づき、水分れ公園、今出川親水公園の整備に向け事業調整を行う

●構成する事業一覧　（令和　2　年度実施事業）

事務事業名	予算小事業名	人件費【千円】	事業費【千円】	計・千円	うち一般財源	必要性	効果性	コスト	公平性
観光振興事業		40,101	58,506	98,607	91,327	A	B	B	該当なし
	観光総務費								
	観光振興事業								
	観光拠点整備事業								
	大河ドラマを活かした観光推進事業								
公園・公衆トイレ維持管理事業		13,183	49,519	62,702	27,853	A	B	A	該当なし
	公衆トイレ維持管理事業								
	公園管理事業								
	過年発生分観光施設災害復旧事業								
指定管理者導入施設管理事業（観光課）		21,926	144,449	166,375	101,539	A	C	B	A
	指定管理者導入施設管理事業								
	指定管理者導入施設管理事業（繰越分）								
受託施設管理事業		3,730	7,961	11,691	3,726	A	B	A	該当なし
	受託施設管理事業								
合計		78,940	260,435	339,375	224,445				

丹波市総合計画　令和　2　年度事務事業評価　／　令和　3　年度実施計画

事務事業名	観光振興事業				
事業担当課	産業経済部　観光課		事業期間	平成　18　～　無期　年度	
	所属長	中原　有美	担当	藤原　宏康	担当　嶋﨑　彰

位置づけ			
総合計画	まちづくり目標	【６】丹波力を活かした創意ある元気なまち	
	施策目標	3【観光】おもてなしで来訪者を迎え、丹波市の魅力を伝えよう	
創生総合戦略	基本目標		
	施策		
まちづくりビジョン	取組項目	(7)観光による地域振興	
根拠法令・個別計画等	観光立国推進基本法、丹波市観光・商工業ユニティプラン		

計画（PLAN）事務事業			
対象（誰を、何を）	丹波市を訪れた観光客、丹波市を訪れたことのない観光客、観光関連の事業者		
目的 ベストな状態 （期待される効果）	・多くの観光客が本市の魅力を知り、市内への来訪者が増加する。 ・観光資源の発掘・研磨・活用と本市の魅力発信により、本市の認知度及び丹波市ファンが増加する。 ・本市の観光を基幹産業化するため、観光推進組織による市内周遊の促進と、地域が儲かる仕組が構築され事業が行われている。		
概要 （具体的手段・全体計画）	・観光資源の発掘・研磨・活用 ・観光情報の発信（観光サイトSaturdayTamba・リーフレット・広告等） ・補助金による支援（丹波市観光協会補助、周遊バス旅行促進事業補助、観光施設整備事業補助） ・観光の拠点施設（「道の駅」丹波おばあちゃんの里）再整備 ・観光推進組織の構築に向けた調整		
令和２年度の事業概略	・大型看板の設置工事（大河ドラマ関連） ・「道の駅」丹波おばあちゃんの里内情報発信コーナー及び春日局庵、並びに観光情報サイトでの情報発信 ・道の駅「丹波おばあちゃんの里」再整備の実施設計業務 ・各団体の補助金交付による事業確認	令和３年度の事業概略	・道の駅「丹波おばあちゃんの里」の再整備工事 ・各団体への補助金交付と事業確認 ・観光情報サイトでの情報発信 ・宿泊割引、スタンプラリー等による周遊・消費促進

実施（DO）

コスト（単位：千円）（評価年度は実績、計画年度は予算）	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
歳出　総事業費　Ａ＋Ｂ	132,919	98,607	257,565	186,692	111,692	111,692	
直接事業費Ａ	90,475	58,506	217,464	146,591	71,591	71,591	
総人件費計（Ｅ＋Ｈ）Ｂ	42,444	40,101	40,101	40,101	40,101	40,101	
職員従事者数（人・年）Ｃ	5.46	4.11	4.11	4.11	4.11	4.11	
【平均人件費】Ｄ	7,400	7,460	7,460	7,460	7,460	7,460	
人件費Ｅ＝Ｃ×Ｄ	40,404	30,661	30,661	30,661	30,661	30,661	
会計年度任用職員従事者数（人・年）Ｆ	1.02	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	
【平均人件費】Ｇ	2,000	2,360	2,360	2,360	2,360	2,360	
人件費Ｈ＝Ｆ×Ｇ	2,040	9,440	9,440	9,440	9,440	9,440	
歳入　特定財源	10,967	7,280	138,237	72,317	17	17	
国・県支出金	10,654	7,005	25,824	22,004	4	4	
借入金（地方債）	0	0	111,200	50,300	0	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	
その他特財	313	275	1,213	13	13	13	
一般財源	121,952	91,327	119,328	114,375	111,675	111,675	

	指標名	単位		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
成果	観光ホームページ、SNSの総レビュー件数（SaturdayTamba）	件	目標	-	200,000	229,000	235,000	257,000	260,000	
			実績	-	222,550					
成果	道の駅「丹波おばあちゃんの里」入込客数	人	目標	-	260,000	400,000	430,000	460,000	500,000	
			実績	370,344	282,123					
活動	メディアへの観光情報のプレスリリース回数	回	目標	-	5	10	10	10	10	
			実績	7	3					
			目標							
			実績							
コスト	観光ホームページ１レビュー当たり（観光振興事業のうち負担金補助を除く経費）	円	目標	-	26.0	21.8	21.3	19.5	19.2	
			実績	-	21.9					
コスト			目標							
			実績							

指標の推移等の背景・分析	
	・丹波市を知らない方などに魅力を知っていただくため、また、丹波市に行ってみたいと思わせる、丹波市の魅力ある観光情報を掲載するＨＰレビュー件数とインスタグラム及びフェイスブックのリーチ件数を合わせた件数を指標とし、情報発信の回数、時期、内容、見せ方などを工夫するとともに、メディアへのプレスリリースにより、広く多くの方に丹波市を”知っていただく”、”来丹いただく”きっかけに繋がる情報発信を行う。 ・市内周遊の基点となる「道の駅」丹波おばあちゃんの里の再整備による入込を把握し、市内周遊の促進と消費拡大に繋がる仕組づくりを行う。

事務事業名	観光振興事業		
事業担当課	産業経済部　観光課	事業期間	平成　18 ～　無期　年度

評価（CHECK）

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について

評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	観光立国推進基本法の基本理念にのっとった丹波市観光・商工業ユニティプランにより、丹波市の魅力を知らない方に、行ってみようとさせる"きっかけ"となるような情報発信と、市内周遊の促進、令和３年度「道の駅」丹波おばあちゃんの里の再整備により、道の駅を基点とした市内周遊及び観光消費の拡大を図るために必要な事業である。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B	・新型コロナウイルス感染症の影響により大河ドラマ関連事業等の縮小、観光拠点整備事業が令和３年度へ繰越になったことから直接事業費が下がった。 ・観光振興事業は、負担金補助及び交付金で約３分の２を占めている中、それ以外について、コスト意識を持って効果的な観光情報の発信を行っている。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	B	・観光情報サイトSaturdayTambaのホームページの記事更新、特にインスタグラムでは、ほぼ毎日更新していることにより、全体のレビュー件数は増加している。 ・「道の駅」丹波おばあちゃんの里再整備にあたり、関係機関並びに地元等と調整を進め、実施設計業務を行っている。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	該当なし	

改革（ACTION）

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

・観光資源の認知度や興味度の向上と情報発信について、情報共有と発信手段等、観光団体との調整により効果的な情報発信が必要
・「道の駅」丹波おばあちゃんの里再整備と、道の駅を基点とした市内周遊と観光消費の拡大に繋がる観光地域づくり
・観光推進組織の目指す将来像に向けた構築と事業展開の調整

今後の方向性・改善策等

・重点「道の駅」丹波おばあちゃんの里再整備工事の実施【令和３年度～令和４年度】
・観光推進組織（丹波市観光協会内）の構築と事業展開
・道の駅を基点とする市内周遊と市内消費による地域活性化施策の実施

成果・コストの方向性

成果の方向性 ＼ コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充				✓
現状維持				
縮小				
休廃止				

●構成する予算小事業一覧　（単位：千円）

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	観光総務費	1,117	1,917	1,917	1,917	1,917	
2	観光振興事業	39,522	69,674	69,674	69,674	69,674	
3	観光拠点整備事業	7,162	145,873	75,000			
4	大河ドラマを活かした観光推進事業	10,705					
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
合計		58,506	217,464	146,591	71,591	71,591	

丹波市総合計画　令和　2　年度事務事業評価　／　令和　3　年度実施計画

事務事業名	公園・公衆トイレ維持管理事業				
事業担当課	産業経済部　観光課		事業期間	平成　18 ～　無期　年度	
	所属長	中原　有美	担当	中川　秀晴	担当

位置づけ			
総合計画	まちづくり目標	【６】丹波力を活かした創意ある元気なまち	
	施策目標	3【観光】おもてなしで来訪者を迎え、丹波市の魅力を伝えよう	
創生総合戦略	基本目標		
	施策		
まちづくりビジョン	取組項目	(7)観光による地域振興	
根拠法令・個別計画等	丹波市観光・商工業ユニティプラン		

計画（PLAN）

事務事業			
対象（誰を、何を）	公園、公衆便所利用者		
目的 ベストな状態 （期待される効果）	各施設において適切に維持管理を行い、利用者が、安全・安心、そして清潔で気持ちよく利用できる。		
概要 （具体的手段・全体計画）	・公園（水分れ公園、川代公園、井原であい公園、長谷大池展望台、横峰山頂公園）の維持管理 ・公衆便所（柏原町観光トイレ、甲賀山公園公衆便所、岩瀧寺渓谷公衆便所、もみじの里公衆便所、仏師の里公衆便所、興禅寺下休憩所トイレ、石龕寺下公衆便所、やぐら公園トイレ、大名草公衆便所【近畿自然歩道】、谷川駅前公衆トイレ、大杉ダム駐車場公衆トイレ）の維持管理		
令和２年度の事業概略	・公園管理及び草刈り剪定業務、保守管理委託 ・柏原観光トイレ外構改修工事実施設計業務 ・公衆便所維持管理業務　・浄化槽保守点検業務 ・清掃業務、・デザイン業務 ・土地及び建物賃貸借契約の締結 ・興禅寺下トイレ壁面改修工事	令和３年度の事業概略	・公園管理及び草刈り剪定業務、保守管理委託 ・柏原観光トイレ外構改修工事 ・公衆便所維持管理業務　・浄化槽保守点検業務 ・清掃業務　・であい公園復旧工事実施設計業務 ・土地及び建物賃貸借契約の締結 ・川代公園電気設備移設工事 ・水分れ公園（こども広場）改修工事実施設計業務

実施（DO）

コスト（単位：千円） （評価年度は実績、計画年度は予算）	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
歳出　総事業費　A＋B	26,717	62,702	34,179	34,179	34,179	34,179	
直接事業費A	19,993	49,519	20,996	20,996	20,996	20,996	
総人件費計（E＋H）B	6,724	13,183	13,183	13,183	13,183	13,183	
職員従事者数（人・年）C	0.86	1.59	1.59	1.59	1.59	1.59	
【平均人件費】D	7,400	7,460	7,460	7,460	7,460	7,460	
人件費E＝C×D	6,364	11,861	11,861	11,861	11,861	11,861	
会計年度任用職員従事者数（人・年）F	0.18	0.56	0.56	0.56	0.56	0.56	
【平均人件費】G	2,000	2,360	2,360	2,360	2,360	2,360	
人件費H＝F×G	360	1,322	1,322	1,322	1,322	1,322	
歳入　特定財源	260	34,849	266	266	266	266	
国・県支出金	206	475	206	206	206	206	
借入金（地方債）	0	34,300	0	0	0	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	
その他特財	54	74	60	60	60	60	
一般財源	26,457	27,853	33,913	33,913	33,913	33,913	

	指標名	単位		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
成果	公園利用者数	人	目標	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	
			実績	41,127	35,512					
活動	公衆便所清掃回数	回	目標	-	790	790	790	790	790	
			実績	-	790					
活動	トラブル対応件数	件	目標	-	0	0	0	0	0	
			実績	-	11					
			目標							
			実績							
コスト	公園１施設当たりコスト（工事請負費を除く）	千円	目標			3,160	3,160	3,160	3,160	
			実績		3,161					
コスト	公衆便所１施設当たりコスト（工事請負費を除く）	千円	目標			800	800	800	800	
			実績		800					

指標の推移等の背景・分析	
	・公園等の利用者数において、ある程度認知もされ、リピーターが多いのではないかと分析している。 ・減少した理由としては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、施設等利用を制限したことが影響している。 ・公衆便所の清掃については、場所によって２日、１週間あるいは１ヶ月に１回の頻度で定期的に清掃を実施している。また、凍結等による故障が年間数回あり、対応策を検討する必要がある。

事務事業名	公園・公衆トイレ維持管理事業		
事業担当課	産業経済部　観光課	事業期間	平成　18 ～　無期　年度

評価（CHECK）

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について

評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	公園は、市内外の利用者にとって憩いの場であり、子育てを応援するまちづくりをする上で必要な事業である。 また、公衆便所も市内を周遊される際に利用されることも多く、必要な事業である。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	A	維持管理にあたってはシルバー人材センターや地元自治会となっており、必要な経費はほとんど人件費であり、コスト削減は困難であるが効率的に遂行できている。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	B	指標に対する評価として、今年度は新型コロナウイルス感染症による影響で大幅に利用者数が減少した。また、今後においても見通しが不透明な状況となっている。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	該当なし	

改革（ACTION）

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

・新型コロナウイルス感染症の影響を受けイベントが中止になるなど利用者数は大幅に減少
・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の実施
・施設が老朽化しているため、計画的な改修等が必要
・トラブル対応件数等を踏まえたトラブルに対する対応策の検討

今後の方向性・改善策等

・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の継続実施
・施設が老朽化しているため、計画的な改修等の実施（手洗いの自動水洗化、躯体の修繕又は建て替え、設備の修繕又は更新）
・トラブル対応件数等を踏まえた対応策の反映
・「都市・自然環境を活かした公園整備方針」に基づく公園整備（水分れ公園、今出川親水公園）

成果・コストの方向性

成果の方向性 ＼ コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充				
現状維持			✓	
縮小				
休廃止				

●構成する予算小事業一覧　（単位：千円）

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	公衆トイレ維持管理事業	5,106	8,575	8,575	8,575	8,575	
2	公園管理事業	38,691	12,421	12,421	12,421	12,421	
3	過年発生分観光施設災害復旧事業	5,722					
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
合計		49,519	20,996	20,996	20,996	20,996	

丹波市総合計画　令和　2　年度事務事業評価　／　令和　3　年度実施計画

事務事業名	指定管理者導入施設管理事業（観光課）				
事業担当課	産業経済部　観光課			事業期間	平成　18 ～　無期　年度
	所属長	中原　有美	担当	中川　秀晴	担当

位置づけ			
	総合計画	まちづくり目標	【６】丹波力を活かした創意ある元気なまち
		施策目標	3【観光】おもてなしで来訪者を迎え、丹波市の魅力を伝えよう
	創生総合戦略	基本目標	
		施策	
	まちづくりビジョン	取組項目	
	根拠法令・個別計画等	丹波市観光・商工業ユニティプラン	

計画（PLAN）		
事務事業	対象（誰を、何を）	指定管理者に指定された団体及び施設利用者
	目的 ベストな状態 （期待される効果）	観光課が所管する公の施設の管理・運営を行う上で、民間のノウハウを導入または施設に特化した独自の方法により、施設利用者の消費拡大、市民雇用の増加などにより地域の活性化が図れる。
	概要 （具体的手段・全体計画）	・指定管理者導入施設（丹波悠遊の森、薬草薬樹公園、休養施設やすら樹、大杉ダム自然公園、今出川親水公園、ウッディプラザ山の駅、ゆりやまスカイパーク、旧氷上高等小学校校舎）の健全運営に対する支援及び施設の躯体にかかる大規模工事及び修繕を実施する。 ・今後の施設のあり方（譲渡・廃止等）を検討する。
	令和２年度の事業概略	・基本協定及び年度協定の締結 ・リフレッシュ館（薬草薬樹公園）屋根防水改修工事 ・薬草薬樹公園整備工事 ・ウッディプラザ山の駅の外装改修工事実施設計業務 ・土地賃貸借契約の締結
	令和３年度の事業概略	・基本協定及び年度協定の締結 ・丹波悠遊の森受電用キュービクル更新工事等 ・ウッディプラザ山の駅の外装改修工事 ・土地賃貸借契約の締結

実施（DO）

コスト（単位：千円） （評価年度は実績、計画年度は予算）		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
歳出	総事業費　Ａ＋Ｂ	103,152	166,375	157,611	100,741	100,741	100,741	
	直接事業費Ａ	91,770	144,449	135,685	78,815	78,815	78,815	
	総人件費計（Ｅ＋Ｈ）Ｂ	11,382	21,926	21,926	21,926	21,926	21,926	
	職員従事者数（人・年）Ｃ	1.33	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	
	【平均人件費】Ｄ	7,400	7,460	7,460	7,460	7,460	7,460	
	人件費Ｅ＝Ｃ×Ｄ	9,842	20,888	20,888	20,888	20,888	20,888	
	会計年度任用職員従事者数（人・年）Ｆ	0.77	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44	
	【平均人件費】Ｇ	2,000	2,360	2,360	2,360	2,360	2,360	
	人件費Ｈ＝Ｆ×Ｇ	1,540	1,038	1,038	1,038	1,038	1,038	
歳入	特定財源	8,537	64,836	54,043	43	43	43	
	国・県支出金	0	7,868	0	0	0	0	
	借入金（地方債）	4,000	56,500	54,000	0	0	0	
	受益者負担金	0	0	0	0	0	0	
	その他特財	4,537	468	43	43	43	43	
	一般財源	94,615	101,539	103,568	100,698	100,698	100,698	

	指標名	単位		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
成果	施設利用者数	人	目標	210,000	180,000	183,600	187,200	190,800	194,400	令和２年度を基本 毎年度２％増
			実績	174,564	103,461					
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
コスト	１施設当たりコスト	千円	目標			11,580	12,947	12,947	12,947	
			実績		11,580					
コスト	指定管理料0円の施設数	施設	目標		9	9	8	8	8	
			実績		3					

指標の推移等の背景・分析	・令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用者数は大幅に減少した。未だに先行きが見通せず目標が設定しづらい状況にあり、毎年度２％増の設定変更の可能性がある。 ・施設の老朽化も魅力を低下させている要因の一つと考えている。

事務事業名	指定管理者導入施設管理事業（観光課）		
事業担当課	産業経済部　観光課	事業期間	平成　18 ～　無期　年度

評価（CHECK）

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について

評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	・各施設の条例において指定管理者に管理を行わせるものとなっている。 ・住民の福祉の向上、都市部との交流及び観光振興等を目的とした公の施設であるため必要な事業である。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B	各施設は、指定管理者が管理運営を行っており、サービスを維持しながら低コストでの実施は難しい面がある。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	C	指標に対する評価として、今年度は新型コロナウイルス感染症による影響で大幅に利用者数が減少した。また、今後においても見通しが不透明な状況となっている。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	A	各施設において、使用料金を定め表示しており、公平性に問題はない。また、施設の利用にあたっては、利用者負担となっている。

改革（ACTION）

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う対応（対策）の実施
・老朽化した施設の改修及び更新計画の策定
・条例改正の検討
・生活スタイルが変化した中で、どのようにして利用者数及び収益を伸ばしていくかが課題
・指定管理料の削減

今後の方向性・改善策等

・新型コロナウイルス感染症に伴う対応（対策）の実施
・老朽化した施設の改修及び更新計画の実施
・条例改正

成果・コストの方向性

成果の方向性 ＼ コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充				
現状維持		✓		
縮小				
休廃止				

●構成する予算小事業一覧　（単位：千円）

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	指定管理者導入施設管理事業	121,779	135,685	78,815	78,815	78,815	
2	指定管理者導入施設管理事業（繰越分）	22,670					
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
合計		144,449	135,685	78,815	78,815	78,815	

丹波市総合計画　令和　2　年度事務事業評価　／　令和　3　年度実施計画

事務事業名	受託施設管理事業				
事業担当課	産業経済部　観光課		事業期間	平成　18 ～　無期　年度	
	所属長	中原　有美	担当	中川　秀晴	担当

位置づけ			
総合計画	まちづくり目標	【６】丹波力を活かした創意ある元気なまち	
	施策目標	3【観光】おもてなしで来訪者を迎え、丹波市の魅力を伝えよう	
創生総合戦略	基本目標		
	施策		
まちづくりビジョン	取組項目		
根拠法令・個別計画等	丹波市観光・商工業ユニティプラン		

計画（PLAN）					
事務事業	対象（誰を、何を）	受託施設に訪れた利用者			
	目的 ベストな状態 （期待される効果）	受託施設（国道175号山南休憩施設、簡易パーキング氷上）を活用し、観光客への観光情報の発信及び「おもてなしの心」を基本とし、丹波市のイメージアップにつなげる。			
	概要 （具体的手段・全体計画）	受託施設の適切な維持管理と観光情報の発信を行う。			
	令和２年度の事業概略	・国道175号山南休憩施設維持管理業務 ・簡易パーキング氷上維持管理業務 ・交通誘導警備業務（愛宕祭中止による未執行）	令和３年度の事業概略	・国道175号山南休憩施設維持管理業務 ・簡易パーキング氷上維持管理業務 ・交通誘導警備業務（愛宕祭中止による未執行）	

実施（DO）

コスト（単位：千円） （評価年度は実績、計画年度は予算）	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
歳出　総事業費　Ａ＋Ｂ	9,440	11,691	12,803	12,803	12,803	12,803	
直接事業費Ａ	8,256	7,961	9,073	9,073	9,073	9,073	
総人件費計（Ｅ＋Ｈ）Ｂ	1,184	3,730	3,730	3,730	3,730	3,730	
職員従事者数（人・年）Ｃ	0.16	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
【平均人件費】Ｄ	7,400	7,460	7,460	7,460	7,460	7,460	
人件費Ｅ＝Ｃ×Ｄ	1,184	3,730	3,730	3,730	3,730	3,730	
会計年度任用職員従事者数（人・年）Ｆ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
【平均人件費】Ｇ	2,000	2,360	2,360	2,360	2,360	2,360	
人件費Ｈ＝Ｆ×Ｇ	0	0	0	0	0	0	
歳入　特定財源	8,043	7,965	8,773	8,773	8,773	8,773	
国・県支出金	7,801	7,716	8,469	8,469	8,469	8,469	
借入金（地方債）	0	0	0	0	0	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	
その他特財	242	249	304	304	304	304	
一般財源	1,397	3,726	4,030	4,030	4,030	4,030	

	指標名	単位		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
成果	施設利用者数	人	目標	95,000	95,000	95,000	95,000	95,000	95,000	
			実績	92,223	79,705					
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
コスト	1施設当たりコスト	千円	目標			6,402	6,402	6,402	6,402	
			実績		5,846					
コスト			目標							
			実績							

指標の推移等の背景・分析	
	・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け大幅に利用者数が減少している。 ・今後においても、先行きが不透明であり、利用者数は伸び悩むと予測している。

事務事業名	受託施設管理事業		
事業担当課	産業経済部　観光課	事業期間	平成　18 ～　無期　年度

評価（CHECK）

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について

評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	休憩施設としてだけでなく、観光情報の拠点として情報発信し、市内の周遊を促進するため、必要な事業である。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	A	・維持管理等に係るコストは、ほぼ国からの委託金で賄っている。 ・国からの委託金及び商工会への委託金も必要な経費のうちほとんどが人件費となっているため、コスト削減は困難である。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	B	指標に対する評価として、今年度は新型コロナウイルス感染症による影響で大幅に利用者数が減少した。また、今後においても見通しが不透明な状況となっている。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	該当なし	

改革（ACTION）

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

・維持管理に係る経費は、ほぼ国からの委託金で賄われており、市の支出はほとんどなく、コスト的に有用な施設である。
・当施設は、休憩施設であるとともに、道路情報をはじめ本市の観光情報を発信及び案内ができる施設である。
・国道175号山南休憩施設は、平成４年度に建設され30年弱が経過し老朽化している。

今後の方向性・改善策等

・老朽化している施設の改修または更新に伴う国との協議

成果・コストの方向性

成果の方向性 ＼ コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充				
現状維持			✓	
縮小				
休廃止				

●構成する予算小事業一覧　（単位：千円）

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	受託施設管理事業	7,961	9,073	9,073	9,073	9,073	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
合計		7,961	9,073	9,073	9,073	9,073	